



## 仕上げと準備の3学期が始まりました。本年も宜しくお願いいたします。

1月11日の始業式の朝、子どもたちの方から、「明けましておめでとうございます。」「今年もよろしくお願ひします。」という挨拶があり、さすが、国府小学校の子どもたち、ご家庭でのしつけがしっかりされているなど思ったことでした。さて、50日間(6年生は49日間)の3学期が始まりました。1月は“行く”2月は“逃げる”3月は“去る”とよくいわれるように、あっという間に終わってしまいます。1日1日を大切に、今の学年の「仕上げ」と次の学年への「準備」を着実にやってほしいと思います。「仕上げ」ということに関しては、学年別必達基準があります。それをクリアできるように努力しましょうという話をしていますので、ご協力をお願いいたします。

＜例：6年生の必達基準＞

教科	国府小学校 必達基準 6年生
1 国語	6年生で習う漢字のすべてが読めて、ほとんどの漢字を書くことができる。
2	百ます計算(ひき算)が2分以内に行える。
3	百ます計算(かけ算)が3分以内に行える。
4	百ます計算(かけ算)が2分以内に行える。
5 算数	筆算テストが10分以内に行える。
6	分数と小数の並じた計算をすることができる。
7	算数で習った言葉を使って説明できる。
8 社会	日本や世界の主な国々の位置(10か国程度)を正しく示すことができる。
9 理科	理科の実験器具の正しい使い方を知っている。
10 体育	続けて7分間泳ぐことができる。
11 体育	マラソンで最後まで走り続けることができる。
12	丁寧に、文字を書く。
13 その他	1分間に40字以上、文字を書き写すことができる。
14	家庭学習を60分以上している。
15	図書の本を50冊以上、借りて読んだ。

また、早く冬休みの生活から抜け出し、規則正しい生活が送れるよう、日ごろの健康管理になお一層ご留意いただきますようお願いいたします。

## 先輩に学ぶ ～平成25年度国府小学校卒業生～

1月4日(火)に、今年成人を迎えた方(本校の卒業生)が突然、来校されました。目的は「卒業時に学校に保管してもらっていたタイムカプセルを開けたい」とのこと。急ぎよ、ランチルームで開けることにしました。中から出てきたのが、門出のまつりで暗唱した土佐日記の原稿やマラソンカードなど。「懐かしい～」という歓声が上がっていました。

この先輩たちを見て、感心させられたことは、脱いだ靴がきちんと整頓されていたこと、使った部屋が元通り整然と整えられていたこと(ゴミ一つ落ちていません。)です。本校の校歌にある「心の鏡 磨きつつ 正しい道を 進み行く」の歌詞のとおり成長している姿を見て、嬉しさがこみ上げてきました。



三	二	一	校歌
国分の流れ 清らかに	歴史ゆかしい 国分寺	比江野の里は その昔	島崎 利昭 作詞
心の鏡 磨きつつ	左右山の緑 恵まれて	紀貫之の 館跡	田内賀代子 作曲
正しい道を 進み行く	若い命は ここに伸ぶ	眺めて励む 学び舎は	
われらが 国府小学校	われらが 国府小学校	われらが 国府小学校	

## すっきり、きれいになりました。

教育委員会からの委託により、今年も、左右山の村井さんや山本さんが、正月明け早々の4日から3日間かけて学校樹木の剪定を行っていただきました。おかげさまで、運動場や校門入口、体育館周辺の木々が見事にすっきりと美しくなりました。年明けにふさわしく、新たな気持ちで3学期を迎えることができました。ありがとうございました。

